学校番号	３１８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「日本史探究」　（清水書院出版）						
副教材等	図説　日本史通覧　（帝国書院出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、近現代の日本を中心とした歴史を学習します。
教科書を用いて、基本的な歴史的用語をおさえ、歴史的事象の意義を考えていきます。また課題に対して自ら考え、深く理解する活動を行っていきます。
「課題を理解する→自分で課題について考える→課題への答えを見つける→解決の過程を振り返る」といったことを繰り返し行い、授業を通して課題解決のための能力を養います。また自分の考えを発表したりする取り組みも行います。
家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。調べ学習や動画配信等の課題を出す予定です。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する 様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味 や意義，伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代への転換と歴史的環境	・開国 ・開国の影響 ・尊王攘夷運動 ・江戸幕府の滅亡	a:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとし	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

			ている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。			
	近現代国家の形成	・明治新政府 ・明治初期の対外関係 ・欧米文化の影響 ・自由民権運動 ・条約改正 ・日清戦争 ・日露戦争 ・近代産業 ・明治文化 ・	a:明治維新やそれにともなう文明開化の風潮に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:明治維新やそれにともなう文明開化の風潮に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c:明治維新やそれにともなう文明開化の風潮に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。 立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、産業の発展の経緯と近代の文化の特色に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。			

2	政党政治と大衆社会	・政党政治 ・第一次大戦 ・大戦後の日本外交 ・大正デモクラシー ・政党内閣制 ・大正期の文化	a:大正から昭和初期における政党政治、大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:大正から昭和初期における政党政治、大衆社会の形成、恐慌と国際関係に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c:大正から昭和初期における政党政治、大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	第二次世界大戦と日本の社会	・恐慌の時代 ・昭和初期の外交 ・ファシズムの台頭 ・国連脱退 ・軍部の台頭 ・日中戦争 ・第二次世界大戦 ・アジア太平洋戦争	a:第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c:第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

3	現代の日本と世界	・占領政策 ・占領下の経済と政治 ・戦後の経済政策 ・戦後の人々の暮らし	a:第二次世界大戦後の日本の再出発、その後の政治・社会の展開、それにともなう国民生活の変容に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:第二次世界大戦後の日本の再出発、その後の政治・社会の展開、それにともなう国民生活の変容に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 c:第二次世界大戦後の日本の再出発、その後の政治・社会の展開、それにともなう国民生活の変容に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度